

第2回全道推進会議における報告事項ならびに協議事項(概要)

北海道労働金庫

<報告事項>

I. 「2022年度事業計画 上期遂行状況」 について

～ 別添資料参照 ～

II. 「つなぐプロジェクトを軸とした共生社会の実現に向けた上期取組み報告」 について

～ 別添資料参照 ～

全道推進会議

【報告事項】

I. 2022年度上期推進活動総括

上期における労金運動の推進は、北海道ろうきんが「中期経営計画(2022～2024年度)」においてコアバリューとして設定した「共生社会の実現」と「健全経営の維持」の実現に向けて、会員・推進機構が一丸となって各種取組みを進めました。

具体的には、つなぐプロジェクト推進運動を基軸に、コロナ禍をふまえた組合員との接点強化に資する各種取組み(組合員と家族に直接届ける教宣活動等)を展開し、ろうきんメインバンク No.1 への取組みを進めました。

<重点取組項目>

1. 「つなぐプロジェクト for SDGs」推進運動【資料1-①～③参照】

- (1) リニューアルしたつなぐプロジェクトについて、各店の年間目標を共有し、「対象項目の追加」「年度当初での寄付先明確化」による身近に感じられる運動や大会議案書での取組方針化や機関紙掲載により組合員へ広く知らせる運動を展開しました。
- (2) 各店・出張所推進委員会においては、「会員自主目標の設定件数」が「つなぐプロジェクト会員目標」に近づくよう取組みを展開した結果、会員自主目標推進運動は9月末時点で582会員となりました。【資料2-①・②参照】
- (3) 結果として、上期末時点での同プロジェクト対象項目の預金・融資・各種サービス新規取引実績は25,424件、「北海道ろうきんATM利用件数」は753,536件となりました。また、今年度より追加となった対象項目については、非対面項目が11,408件、ろうきん運動項目が497件、NPOとの連携項目が27件となりました。利用実績やろうきん運動項目等に応じた福祉団体への寄付見込額は5,071千円(前年同期比+1,950千円)となりました。

【預金・融資・各種サービス実績】

No	項目	年間目標	上期実績	達成率
①	メイン化(給振・年金・公振・クレジット)	18,900	11,376	60.2
②	預金(財形・エース・お子さま口座)	6,018	3,570	59.3
③	融資(団体融資・手形貸付等除く)	14,992	9,009	60.1
④	預かり資産(個人型DC新規・投信契約者増加数・国債新規)	1,772	1,469	82.9
	合計	41,682	25,424	61.0

【北海道ろうきん ATM 利用件数】

項目	件数
北海道ろうきん ATM 利用件数	753, 536 件

※ 北海道ろうきん ATM にて入金・出金（ローンカード含む）1 回につき 1 円を寄付。

【非対面項目実績】

項目	年間目標	上期実績	達成率
非対面（ろうきんアプリ・エコ通帳・団体 I B）	21, 030	11, 408	54. 2

【ろうきん運動項目実績】

No	項目	回数・会員数
①	学習会開催回数	367 回
②	議案書・機関紙への掲載会員数	130 会員
	合計	497

【NPO との連携項目実績】

No	項目	件数
①	融資相談件数	9 件
②	NPO 法人普通預金口座開設数	18 件
	合計	27 件

【会員自主目標推進運動実績】

項目	会員数
会員自主目標設定会員数	582 会員

2. 連合北海道・2020 生活アンケートをふまえた「メインバンク No. 1」への取組み

(1) 「家庭に届ける」ろうきん周知活動の展開

① 「家庭に届け！ いいこと R（アール）キャンペーン 2022」周知活動

ア. 自主福祉運動の原点である「組合員に直接届ける運動」の重要性を鑑み、2021 年度に引き続き、組合員個人の家庭に、「便利で魅力的なろうきんを知ってもらうツール（チラシ）」を届ける取組みとして、7 月 1 日より「家庭に届け！ いいこと R（アール）キャンペーン 2022」（実施期間：2023 年 3 月 31 日まで）を実施しました。

イ. 9 月末現在で、579 名の応募となっており、家庭内での周知が図られています。

【月次応募者推移】

7 月	8 月	9 月
261 件	152 件	166 件

② 「北海道ろうきんフォトフォーラム ～写真の広場～ 2022」周知活動

ア. 全道の組合員とその家族（友の会含む）が楽しく参加でき、幅広い世代からろうきんファンを拡大する WEB イベント「北海道ろうきんフォトフォーラム～写真の広場～2022」への取組みを 7 月 1 日より実施しました（実施期間：2023 年 3 月 31 日まで）。

イ. 9 月末現在で 80 名から応募作品があり、会員組合員とともに、友の会の皆さんも多く参画されています。

ウ. 応募作品は、ろうきんホームページの特設ギャラリーにて、全作品が定期的にアップされています。

【月次応募者推移】

7月	8月	9月
27件	37件	16件

③ 「連合北海道」「北海道労働者福祉協議会」が「勤労者福祉の向上」を目的に展開する「勤労者福祉向上キャンペーン」の一環として、関係団体との合同による労働福祉事業団体の利用拡大に向けた要請活動を、都合 22 産別・1 ブロック労福協（渡島）に対し実施しました。要請活動については、引き続き、3 ブロック労福協（網走・宗谷・空知）に対して実施される予定です。

(2) 「組合員様専用サイト」の活用

- ① 組合員へ広くろうきん周知を図るために、「ろうきん News」「機関紙用データ」「WEB アンケート BOX」が掲載された組合員様専用サイトの周知活動を展開しました。
- ② 組合員様専用サイトの活用に向けては、産別や各単組での周知を図るとともに「WEB アンケート BOX の活用」や「組合役員に役立つ情報の掲載」により、9 月末の当該ページへのアクセス数は 627 件となりました。

< 共通取組項目 >

1. 可処分所得向上運動の取組み

可処分所得向上額 10 億円を目標に、職域活動費を活用した学習会等による組合員への周知活動、銀行カードローン問題への対応や他行高金利ローン借換によって、組合員の可処分所得向上に資する運動を展開した結果、上期実績は 344 百万円（前年同期比+20 百万円）となりました。

2. 職域活動費の効果的な活用【資料 3-①・②参照】

- (1) 会員による職域活動費を活用した学習会は 164 回、延べ 3,680 名の出席となり、コロナ禍ではあるものの、会員組合員との接点強化が図られました（内、WEB を活用した学習会は 2 回となりました）。
- (2) 主に、「新人説明会」「若年層説明会」「住宅ローン等商品説明会」「資産形成に関する学習会」を目的とした活用となりました。
- (3) 取組みの結果、職域活動費の活用金額は 5,930,193 円となりました。

3. 推進機構活性化運動の展開

(1) 運動の基盤強化

ろうきん運動基盤拡大に向け、「大会議案書へのろうきん運動方針化」「組合機関紙への商品・サービスの掲載」「職場推進委員会の設置・活性化」【資料 4 参照】に取組みました。結果として、「大会議案書へのろうきん運動方針化」は 67 会員、「組合機関紙への商品・サービスの掲載」は 63 会員、「職場推進委員会の設置数」は 485 会員となりました。

(2) 「青年・女性委員会」との連携

連合女性委員会と連携し、6 月 4 日に開催された「2022 男女雇用機会均等法集会」

にて、ろうきんの成立ちや可処分所得向上運動について共有しました。

4. 生活応援運動の展開

(1) 生活設計運動の取組み

① ろうきんアプリ・エコ通帳推進運動

残高・入出金明細照会、かんたん通帳 (Money Forward)、住所変更、ろうきんホームページへのリンクなど、いつでもどこでも確認できる「ろうきんアプリ」推進運動と、通帳記帳・繰越の必要がない「エコ通帳」推進運動を展開しました。

ろうきんアプリ契約件数 (2022年9月末時点)
【契約件数】7,622件 【累計契約件数(2019年10月22日~2022年9月末)】55,034件
エコ通帳 [通帳不発行型の普通預金口座] (2022年9月末時点)
【新規件数】3,740件 (前年同期比+1,069件)

② 退職金結集運動【資料5参照】

「産別からの退職者情報提供 (8産別)」「全開発・JP労組・北教組における機関会議での取組方針化」「説明会・セミナー開催 (7会員・102名)」など、会員・推進機構による主体的な運動を展開しました。

退職金結集金額 (2022年9月末時点)
【運動目標】90億51百万円 【運動成果】154億92百万円 (目標対比+64億41百万円)

③ 季節キャンペーン結集運動

ろうきん運動の原点である夏季一時金の預入について、取組みを実施しました。

2022 サマーキャンペーン実績 (6月1日~7月29日)
【定期・エース預金新規預入】16,250件・56億10百万円 (2021年度比△2,457件・△16億61百万円)

④ 資産形成運動

ア. 「2022 “人生100年時代” 未来設計スタートキャンペーン」の展開

組合員の資産形成運動として、当該キャンペーンの周知活動を展開しました。

※ キャンペーン対象商品:「年金財形」または「iDeCo」または「投資信託定時定額買付(つみたてNISA含む)」の新規契約(適用条件有)

2022 “人生100年時代” 未来設計スタートキャンペーン(4月1日~12月30日)
新規件数 (2022年9月末時点)
財形新規件数:1,969件/iDeCo新規件数:274件/ 投資信託定時定額買付(つみたてNISA含む):563件

イ. 「投資信託・国債」の推進

学習会等を通して、組合員や退職者の多様なニーズに合致した資産形成の取組みを展開しました。

投資信託・国債新規件数 (2022年9月末時点)
投資信託新規件数:661件/国債新規件数:534件

(2) 生活改善運動の取組み ~重点運動項目の推進~ 【資料6-①~④参照】

① 住宅ローン推進運動

「住きっと!500」等の周知活動により、有担保ローン新規目標額を上回る成果となりました。

有担保ローン新規目標額（2022年9月末時点）

【目標】 321 億円 【実績】 402 億円（目標対比+81 億円）

② 可処分所得向上運動

組合員の可処分所得向上に繋げる運動を展開しました。

可処分所得向上額（2022年9月末時点）

【実績】 3 億 44 百万円

可処分所得向上運動に関する学習会開催実績（2022年9月末時点）

【実績】 125 件 / 2,473 名

③ 非正規雇用組合員取引拡大運動

「全力応援 pack」の周知活動を行いました。

全力応援 pack（非正規勤労者向け融資商品）新規件数（2022年9月末時点）

【実績】 335 件（前年同期比+13 件）

④ 「奨学金借換ローン」「奨学金借換+αローン」周知運動

社会問題化している奨学金問題に対し、勤労者のセーフティネットとして、更なる役割発揮を図る観点から、積極的な周知活動を展開しました。

【奨学金借換ローン】

奨学金借換ローン新規実績（2022年9月末時点）

【実績】 14 件 / 32 百万円（前年同期比△1 件 / △10 百万円）

奨学金借換ローン累計実績（2022年9月末時点）

【実績】 438 件 / 10 億 59 百万円（集計期間：2017年10月1日～2022年9月30日）
--

【奨学金借換+αローン】

奨学金借換+αローン新規実績（2022年9月末時点）

【実績】 4 件 / 13 百万円

(3) 生活防衛運動の取組み

① 多重債務防止運動（学習会・研修会の開催）【資料7-①・②参照】

多重債務に関する学習会を開催するなかで、組合員の生活防衛に資する取組みを展開しました。

生活防衛運動に関する学習会開催回数（2022年9月末時点）

【開催回数】 99 件 【参加組合員数】 2,051 人

② 多重債務救済運動（相談機能の発揮）

「お客様相談室」「各店・出張所多重債務相談員」と連携し、高金利ローン借換や多重債務に陥った組合員の相談対応を行いました。

多重債務相談（2022年9月末時点）

【高金利ローン借換・多重債務相談件数】 660 件

5. 「ろうきん友の会」「北海道退職者連合」との連携

「ろうきん友の会」「北海道退職者連合」と「北海道ろうきん」が連携し、「年金口座移管運動」を展開した結果、労金での年金受取口座は 26,740 件（2022年9月末時点）となりました。

【協議事項】

I. 2022 年度下期推進活動方針（案）

コロナ禍においては、第7波がようやくピークアウトしたものの、感染拡大は下げ止まりの状況が続いており、いまだに道内だけではなく国内外で不安が続く状況が続いています。

現下の状況から、引き続き感染状況を注視しながら、下期以降も感染防止対策を徹底したうえで、つなぐプロジェクト推進運動を基軸とした「ろうきん運動」の進展に向け、会員自主目標の設定へ向けた取組みを強化し、ろうきんメインバンク No.1 への取組みを進めます。

<重点取組項目>

1. 「つなぐプロジェクト for SDGs」推進運動

- (1) 上期末の進捗をふまえ、リニューアルしたつなぐプロジェクトについて、引き続き、大会議案書での取組方針化や機関紙掲載等により、組合員へ広く知らせる活動を展開します。
- (2) 「つなぐプロジェクト」と「会員自主目標推進運動」の連動強化を継続し、ろうきん各営業店と連携します。

2. 連合北海道・2020 生活アンケートをふまえた「メインバンク No.1」への取組み

(1) 「家庭に届ける」ろうきん周知活動の展開

コロナ禍の長期化により、依然として組合員へのろうきん周知活動が充分に行えない状況であることから、会員自主福祉運動の原点である「組合員に届ける運動」を展開するために、下期以降も「家庭に届け！ いいことR（アール）キャンペーン2022」「北海道ろうきんフォトフォーラム ～写真の広場～ 2022」の周知活動を継続します。

(2) 組合員への無担保主要商品の金利引下げ

10月1日より、非組合員との金利差別化を図り、組合員の方々がより利用しやすい商品・制度とするために実施された無担保主要商品の金利引下げについて、組織拡大の取組みと連動し周知活動を展開します。また、他行等高金利ローン借換時の審査基準緩和等を活用し、より多くの組合員の生活改善に取組みます。

(3) 団体信用生命保険（団信）の制度拡充

10月11日より、取扱いが開始された住宅ローン等新規申込者を対象とする「がん団信」「引受緩和団信」「夫婦連生就業不能保障団信」について、周知活動を展開し、万一の際の組合員およびその家族の生活保障に備えます。

(4) 「組合員様専用サイト」の活用

当該サイトには、①ろうきん News、②機関紙用データ、③WEB アンケート BOX が掲載・設置されていることから、上期に引き続き、周知活動を強化することで、会員組合員の利用者拡大に繋がります。

<共通取組項目>

1. 可処分所得向上運動の取組み

上期に引き続き、職域活動費を活用した学習会等による組合員への周知活動を行い、

「銀行カードローン問題への対応」「他行高金利ローン借換（クレジットカードのリボ払い含む）」「奨学金借換」により、組合員の可処分所得向上に資する運動を展開し、「可処分所得向上額 10 億円以上」の達成を目指します。

2. 職域活動費の効果的な活用

WEB 学習会での職域活動費の使用が可能となっていることから、上期に引き続き、積極的に活用します。なお、WEB 学習会への活用に際しては、対象人数の確認が必要なことから、事前申請の扱いとします。

3. 推進機構活性化運動の展開

ろうきん運動基盤拡大に向け、「大会議案書へのろうきん運動方針化」「組合機関紙への商品・サービスの掲載」「職場推進委員会の設置・活性化」に取り組めます。また、「ナショナルセンター」「労福協」「青年・女性委員会」との連携強化に取り組めます。

4. 下期生活応援運動の展開

「生活設計」「生活改善」「生活防衛」運動の取組みについて、コロナ禍をふまえ、組合員のニーズに沿った取組みを展開します。

(1) 生活設計運動の取組み

① ろうきんアプリ・エコ通帳推進運動

ア. コロナ禍における非対面ニーズへの対応として、ろうきんアプリやエコ通帳（無通帳型普通預金口座）の推進を継続します。

イ. ろうきんのスマろう！キャンペーンの実施

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none">i. 実施期間は、2022 年 11 月 1 日（火）～2023 年 1 月 31 日（火）とします。ii. ろうきんアプリ・エコ通帳・ろうきんダイレクトの利用促進を図ります。iii. 抽選で合計 1,500 名に各種プレミアム（QUO カード Pay）を進呈します。 |
|--|

② 「退職金結集運動」の展開

組合役員による帯同オルグの実施や、退職後の資産形成に関する学習会の開催等について、継続して取組みます。

③ 季節キャンペーン結集運動

11 月より実施する「2022 ウィンターキャンペーン」（実施期間：2022 年 11 月 1 日～12 月 30 日まで）について、ろうきん運動の原点である預金結集運動の展開とともに、次世代に繋げるための取組みである「お子さま口座新規開設運動」を積極的に推進します。

④ 資産形成運動

上期に引き続き、「2022 “人生 100 年時代” 未来設計スタートキャンペーン」（実施期間：2022 年 4 月 1 日～12 月 30 日まで）を推進します。また、組合員の多様なニーズに合致した資産形成の取組みとして「みんなのマネ LABO」の周知活動を展開します。

(2) 生活改善運動の取組み～重点運動項目の推進～

① 下記重点運動項目について、上期に引き続き、取組みを展開します。

全道推進会議・重点運動項目
ア. 住宅ローン推進運動 イ. 可処分所得向上運動の取組み ウ. 非正規雇用組合員の取引拡大に向けた「全力応援 pack」の推進 エ. 「奨学金借換ローン」「奨学金借換+αローン」周知活動

② 「奨学金に関する電話相談」への対応

道労福協が実施する「奨学金に関する電話相談（11月11日～12日）」において、ろうきんとも連携し、ライフサポートセンターと一体となった取組みを展開します。

(3) 生活防衛運動の取組み

① 多重債務防止運動（学習会・研修会の開催）

マネートラブルや多重債務から会員・組合員を守るための運動として、継続的な学習会・セミナー等の開催に取組みます。また、融資商品説明を行う全ての学習会において、多重債務に関する説明を合わせて行い、組合員の生活防衛意識向上に努めます。

② コロナ禍により、収入減少等の影響を受けている組合員に対し、北海道ろうきんの商品・制度の周知活動および利用に向けた取組みを展開します。

③ 多重債務に陥った組合員の相談は、北海道ろうきん「お客様相談室」「本支店・出張所多重債務相談員」と連携し対応します。

お客様相談室（相談員1名常駐）	
<フリーダイヤル>	0120-380-931
<住所>	札幌市中央区北1条西5丁目3-10 本館 1F コンサルティングプラザ内

5. 「ろうきん友の会」「北海道退職者連合」との連携

生涯取引の確立に向け、「年金口座移管運動」を推進の柱として、「ろうきん友の会」や「北海道退職者連合」「各退職者組織」と連携した取組みを進めます。

以上